

第7回宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞

《宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞》

宮沢賢治の盛岡高等農林学校時代の教員の研究テーマや賢治との交流を調査し、同窓生の証言を集め、2006年から同窓会「北水会」会報に連載し、「北水会」発足百周年の21年に『同窓生が語る宮澤賢治』に集成した功績に対して。

若尾 紀夫 様

選考経過およびその理由について

宮沢賢治学会イーハトーブセンター
賞選考委員長 大沢 正善

選考対象は5件。1件が第二次選考に残り、イーハトーブ賞に推薦された1件を加え、総数2件のうち1件が功労賞に選出された。

若尾紀夫氏は、宮沢賢治の盛岡高等農林学校時代の教員の研究テーマや賢治との交流を調査し、同窓生の証言を集め、2006年から同窓会「北水会」会報に連載し、同窓会発足百周年の21年に『同窓生が語る宮澤賢治 盛岡高等農林学校と宮澤賢治120年のタイムスリップ』に集成した。多くの教員の事績や卒業生間の交流を広く紹介する他に、開校の経緯を押さえ、当時の施設や教材の写真を充実させている。賢治にとどまらず盛岡高等農林学校の歴史的意義を整理した功績は宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞にふさわしい。

宮沢賢治学会イーハトーブセンター功労賞 若尾 紀夫 (わかお のりお) 様

1940年生まれ 岩手県盛岡市在住

【学歴】

| | |
|----------|----------------------------------|
| 1940年12月 | 山梨県生まれ |
| 1964年 | 岩手大学農学部農芸化学科卒業 |
| 1966年 | 岩手大学院農学研究科修士課程（農芸化学専攻）終了 |
| 1969年 | 東北大学農学研究科博士課程（農芸化学専攻）単位取得修了・農学博士 |

【職歴等】

| | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1969年 | 岩手大学農学部農芸化学科助手、同助教授を経て、1997年教授 |
| 2006年3月 | 定年退職 |
| 2001年 ～2006年 | 岩手大学農学部附属農業教育資料館長 |
| 2007年 ～現在 | 岩手大学農学部附属農業教育資料館研究員 |

【業績】

- ・ 研究分野：応用微生物学・微生物生態学・環境微生物学。
- ・ 主な研究課題：特異環境における微生物、好酸性従属栄養細菌の分類・生態・生理、好酸性従属栄養細菌の光合成系および重金属耐性機構の解析。
- ・ 日本植物生理学会論文賞（*Journal of Plant and Cell Physiology*、1998年）
- ・ 著書：『土壌生化学』（朝倉書店）、『土壌微生物入門』（共立出版）、『新編土壌微生物実験法』（養賢堂）、『事典・微生物の手帖—83の謎をさぐる』（講談社）、『土壌病害の手引（Ⅲ）』（日本植物防疫協会）、『農業技術大系・土壌肥料編（第1巻）』（農文協）、『土壌の事典』（朝倉書店）以上いずれも共著、『同窓生が語る宮澤賢治—盛岡高等農林学校と宮澤賢治—』若尾紀夫著・編（岩手大学農学部北水会）



同窓生が語る宮澤賢治
盛岡高等農林学校と宮澤賢治

120年の
タイムスリップ

岩手大学 名誉教授
若尾紀夫 著・編

新たな100年先の
北水会を目指して

2006年の同窓会報から
連載が始まった
「同窓生が語る宮澤賢治」を
再編集して1冊に収録。

岩手大学農学部
同窓会「北水会」
充足100周年
記念出版

盛岡高等農林学校の創立から
賢治の研究・学生時代を
貴重な資料とともに
深く掘り下げる25冊を掲載。
新たな100年先を目指して、
ここに字んた
賢治の高い理想を
次の世代へ受け継ぎます。